

静岡県漁業協同組合連合会  
1129 静岡市追手町 9-18  
17.2.4 ☎ 054-254-6011  
編集・発行 = 指導部漁政課

### 1. 坂井平田、相良町漁協が合併し新たに相良漁業協同組合がスタート

かねてより厳しい漁業環境に対応し、地域における漁業生産基盤及び経営基盤の強化を図るため進められてきた、相良町の坂井平田漁協と相良町漁協の合併協議が成立し、平成17年1月1日付けで相良漁協として新たなスタートを切りました。

この合併による漁協の主な事務所は、旧坂井平田漁協事務所となり、従たる事務所は旧相良町漁協事務所となりました。

なお、1月20日臨時総会が開催され、初代組合長には名波源四郎氏(旧相良町漁協組合長)、専務理事には萩原徳治氏(旧坂井平田漁協組合長)がそれぞれ就任しました。

### 2. 青年漁業士・指導漁業士10名が新たに認定される

県では、去る1月31日グランシップ(静岡市)に鈴木県副知事を迎え地域漁業、農業を担う中核的活動を行っている青年漁業士、青年農業士及び後継者育成等に尽力している指導漁業士、農業経営士、特産品づくりなどに活躍する農産漁村ときめき女性と合わせて57名の認定式が水産関係者及び農業関係団体の代表者多数出席し行われました。

漁業関係では次の10名の方が認定され、今後の活躍が期待されます。

青年漁業士(5名)：石黒広幸(稲取・一本釣) 小原良則(吉田町・一本釣) 福世速己(同・船曳網、一本釣) 小野田一敏(御前崎・船曳網、一本釣) 伊藤良夫(浜名・船曳網、延縄、採貝、ノリ養殖) 指導漁業士(5名)：竹内照裕(南伊豆町・一本釣、刺網) 鈴木宏幸(浜名・船曳網、延縄) 山田 豊(同・船曳網) 古橋宏基(浜名湖養魚・養鰻) 山本光則(同)

### 3. カツオ履歴表示を試行 漁獲情報などを消費者に

水産物は、鮮度劣化が著しく漁獲・流過程における品質・衛生管理が重要で、消費者には、どのような流通・工程を経て商品陳列がされているのかが伝わりにくく、食品の安全・安心への関心により、消費者の食品表示・流通情報の開示に対する要望が高まっています。このような中、県水産流通室では、遠洋カツオ一本釣漁業による刺身用冷凍カツオを取り上げ、漁獲から流通、消費までの情報を店頭広告で表示するほか、インターネットのホームページで見られるようアドレスを書いたラベルを貼り2月1日～25日の間、これらの情報を消費者に提供するための事業を試験的に実施しています。

提供する情報の種類は、漁船名、漁獲海域、保管温度、加工業者名など12項目余で、消費者は商品ラベルに記載された識別番号をもとに、インターネット上で検索することで、詳しい情報が得られます。また、県ではホームページ上に生産履歴表示についての意見を聴くアンケートの頁も設置し、消費者からの反応を調べ、情報提供のシステムの確立を進め、今後の実用化に向け各種試験を行います。

今回の対象商品は、全国の水揚げ日本一であるカツオのたたきのパックで、協力を得たスーパーは、静鉄ストア(静岡市)、マックスバリュ東海(長泉町)、主婦の店(浜松市)

の県内計72店舗で実施しています。 問合せ先：県農業水産部水産流通室  
TEL:054-221-2658 HPアドレス <http://www.katsuo.pref.shizuoka.jp/pc/>

### 4. 国連世界防災会議において津波のシンポジウム開催される

去る、1月19日神戸市において10年前の阪神・淡路大震災を記念し国連防災会議が開催され、その中で漁業関係が関心の高い津波についてのシンポジウムが行なわれました。

特に昨年12月27日にインドネシアスマトラ島沖で発生したマグニチュード9の巨大地震により発生した津波により、インド洋に面している国々で20万人を超える犠牲者が出たことから関心が高く、各県防災関係者及び多くの一般市民が参加しました。

基調講演の中で、これまで東海沖地震等の巨大地震の発生メカニズムを解明し地震予知に力を注いできましたが、昨年の北海道十勝沖地震では、プレート沈み込み付近での前兆現象が全くないなかで地震が発生していることから、地震予知が難しく地震発生に伴う津波に対する避難を根本的に考え直さなくてはならないとのことでありました。

今後30年以内に、東海・東南海・南海沖で発生する地震発生確率は50%～80%といわれ、巨大地震で発生する津波(6～10m)に対し各地方自治体で作成しているハザードマップを家族に理解させ、地震発生後2分から10分で襲来する津波に対し直ちに安全な場所に避難する事が必要です。また、地域によっては過去の地震や津波被害の体験者がおり、そうした人の話を住民に伝え避難方法・場所を定めておくことも必要とのことです。

更に海溝型の地震による津波到着時間は、2分から10分と極めて短時間で到着することから、地震発生によりTV等の報道機関からの情報を待っていたら逃げ遅れることになるため、海岸部の住民は地震が発生したら直ちに避難する行動が必要とのことでした。

このような状況は、海に近い所で生活している漁業関係者の生命に直接関係することから、市町村で出しているハザードマップを再度確認し、地震が発生したら海の様子を見に行かず、直ちに安全な場所に避難することを再確認しておくことが必要です。

### 5. 本会人事異動

本会では2月1日付けで、人事異動を発令しましたのでお知らせします。

総務部長兼総務課長 田中平八(焼津事業所長) 販売部長兼焼津事業所長 山下光夫(販売部長) 賀茂出張所 牛島秀和(販売部)

退職 増田恵一(総務部長兼総務課長)(1月31日付定年退職)

### 6. 新刊図書紹介 「おさかな栄養学」鈴木たね子・大野智子共著

本書は、魚介類にはどんな栄養素が含まれており、その栄養がどんな働きをするのか、どのように摂れば栄養を最大限活かす事ができ、より良い効果が得られるのかを分かりやすく解説しています。

定価：1,470円(税込) 四六版180頁 問合せ先：成山堂書店 TEL：03-3357-5861

### 7. 諸会議日程(2月8日(火)～2月21日(月))

- 既報分省略 -

2月15(火)～16日(水) 県漁港漁場協会 = 現地研修会 (三重県・鳥羽)

2月16日(水) 県漁業振興基金 = 伊豆地域栽培漁業推進協議会 (内浦漁協)

2月18日(金) 県機船底曳網組合 = 通常総会 (稲取)

2月18(金)～19日(土) 県漁青連 = 監査会・役員会・通常総会・研修会 (伊東)